

日本保健医療行動科学会

HEALTH BEHAVIORAL SCIENCE NEWS LETTER

第103号

2021年12月1日発行

発行 日本保健医療行動科学会

〒631-8524 奈良市中登美ヶ丘 3-15-1 奈良学園大学内

Email: info@jahbs.info

Tel: 050-7115-5154

Web サイト: <https://www.jahbs.info/>

発行責任者 中川 晶

編集責任者 馬込武志, 吉岡隆之

第36回日本保健医療行動科学会学術大会 大会長挨拶

樋口倫子 (明海大学)

この度、2022年6月18日(土)～19日(日)、第36回日本保健医療行動科学会学術大会を開催させていただき運びとなりました。開催に際し、多くみなさまのご支援とご協力に心から感謝申し上げます。対面での開催の可能性について、実行委員会で協議いたしましたが、昨今の感染状況の予測が立たない事情を鑑み、今回もWeb開催といたしました。現在、Web学術大会ならではの多彩なプログラムを計画しております。

本学術大会では、「対話する保健医療」をメインタイトルとしました。第34・35回大会では、「当事者性」や「専門家としてのあり方」について、考える機会となりました。専門職が当事者性を大切に、「私たちごと」としてかかわる態度がより一層必要であることを確認しあえた学会でした。

社会は、より民主性平等性の実現に向けた動きが加速しています。保健・医療・福祉・心理・教育の領域においてもコミュニケーションは、より平等で対等な関係のもとに変化し続けています。それは、コミュニケーションの取り方の平等性や対等性を指すだけではありません。よりよい生き方やあり方を実現する支援として、介入・治療・教育というモノローグの姿勢から、協働・相互接続・創造というダイアローグの姿勢の実践が必要となることを意味しています。本学会は、設立以来、人々のよりよい人生を支える保健医療を考え続け、問い続けてまいりました。従来 of 行動変容を求める保健医療から、「共に変わる」「関係の中で意味は変わる」という対話型の保健医療へのパラダイム変換が進行しています。第36回大会においては、Wellbeingを育む保健医療の実践について皆様と対話しながら、体験を共有しアイデアを創発する機会にしたいと思っております。皆様のご参加を心からお待ちしております。

支部活動案内

◎最新の支部活動案内は、本学会 Web サイトに掲載しています！

▼第107回東京支部研究会 (人と人研究会共催)

[テーマ] ティーチングとコーチングによるスタッフ育成 I — ビギナーへの効果的な指示 —

[講師] 諏訪茂樹 (本学会副会長)

[日時] 2022年2月5日(土) 18:30 - 20:30

[会場] Zoomによるオンライン会場

[ねらい] スタッフが新たな環境に適応し、成長していくためには、先輩からの適切な指示や助言が欠かせません。効果的な指示や助言の方法を、講義と演習で学びます。

[参加費] 学会員¥1,000 非学会員¥2,000

[申込み] 「こくちーずプロ」よりお申し込みください。 [こくちーずプロ 諏訪茂樹 | Q](#)、もしくは上のQRコードで。

[お問い合わせ] 人と人研究会事務局 Email: shhr@nifty.ne.jp (担当: 酒井)

(下記の東京支部事務局のメールアドレスとは異なります。)

日本保健医療行動科学会 東京支部事務局 (樋口倫子)

〒279-8550 浦安市明海1丁目 明海大学

Email: nhiguchi@meikai.ac.jp Tel: 047-355-5120 (教員代表)

▼第138回近畿支部研究会 【諸般の事情で休止中】

日本保健医療行動科学会 近畿支部事務局 (馬込武志)

Email: jahbs.k@gmail.com (近畿支部専用アドレス)

▼第63回北海道支部研究会 【諸般の事情で休止中】

日本保健医療行動科学会 北海道支部事務局 (森谷 満)

〒002-8072 札幌市北区あいの里2条5丁目 北海道医療大学病院内科・心療内科

Email: jahbshokkaido@yahoo.co.jp Tel: 011-778-7575 (病院代表)



第36回日本保健医療行動科学会学術大会のご案内（第2報）[2021.12.1.]

- テーマ 対話する保健医療
- 会期 2022年6月18日（土）・19日（日）
- 開催方法 オンラインによる開催（Zoomによるリアルタイム配信）
- 大会長 樋口倫子（明海大学）



※最新情報は、随時「第36回大会専用サイト（<https://gakujutsushukai.jp/2022jahbs/>）」に掲載します。
【12月中旬開設予定】（本学会Webサイト（<http://www.jahbs.info/>）からリンクを設定いたします。）

■大会プログラム・日程（予定） ※プログラム・日程は一部変更される場合があります！

< 2022年6月18日（土） >

- 09:00 - 10:00 （拡大理事会，顧問・評議員会）
- 10:10 - 11:10 （総会）
- 11:15 - 11:25 【開会式】
- 11:25 - 12:10 【基調講演】
対話と共感が生み出す Well-being —ネットワーク型支援の現状と課題
講師：樋口倫子（第36回学術大会長，明海大学）
座長：中川晶（京都看護大学，なかがわ中之島クリニック）
- 12:15 - 13:15 【ランチョン・トーク】
交流セッション
- 13:30 - 15:00 【シンポジウム】
相互理解で多職種連携は深化する —リフレクティングの活用によるフィジビリティスタディ
座長：岡美智代（群馬大学）
シンポジスト：4名
- 15:10 - 17:10 【ワークショップ】
ワークショップ1：エスノグラフィック・インタビュー
講師 道信良子（札幌医科大学）
ワークショップ2：チームワークのためのカンファレンス・トレーニング
講師：諏訪茂樹（東京女子医科大学）
- 18:00 - 19:30 【懇親会】

< 2022年6月19日（日） >

- 09:00 - 09:30 【モーニング・セッション】
モーニング・ヨガ
講師：村上真（株式会社ビーイングモード）
- 09:30 - 11:30 【一般演題（口頭発表）】
一般演題A・B・C
- 12:15 - 13:15 【ランチョン・トーク】
ポスターセッション
- 13:30 - 15:00 【特別講演】
保健医療のためのオープン・ダイアログ
講師：斎藤環（筑波大学医学医療系）
座長：樋口倫子（明海大学）
- 15:10 - 17:10 【ワークショップ】
ワークショップ3：信念対立解明アプローチ
講師 林哲也（明海大学）
ワークショップ4：オープン・ダイアログ
担当：大会実行委員会
- 16:20- 【閉会式】

■参加登録について

登録期間：2022年3月1日（火）0時～6月8日（水）24時（大会10日前）

参加料金：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、大学院生 3,000 円、学部学生 2,000 円

■一般演題発表（口頭発表・ポスター発表）

一般演題申込み・抄録締め切り：2022年3月1日（火）～4月15日（金）

*採択審査あり。結果の発表者への連絡：2022年5月15日（日）ごろを予定

ポスターデータ登録期限：2022年5月31日（火）

演題登録・抄録提出方法：「第36回大会 Web サイト」の「演題登録」から登録と抄録のアップロード
発表形式：

口頭発表「研究報告」「実践・活動報告」。発表時間は12分、質疑応答は8分、計20分

ポスター発表「研究報告」「実践・活動報告」。Web上で自由閲覧。ランチョン・トークでディスカッション。

■ワークショップ

参加申込：「第36回大会 Web サイト」に、ワークショップの参加申し込みフォームを構築予定。

各ワークショップ定員あり。

■大会事務局・問い合わせ等

第36回日本保健医療行動科学学会学術大会実行委員会事務局 担当：瀬在泉（大会事務局長）

〒279-8550 浦安市明海1丁目明海大学管理研究棟1701

E-mail: jahbs2022@gmail.com

●会員勧誘のお願い●

会員の皆様には、本学会に興味や関心のありそうな方々に、本学会への入会をお勧めくださいますようお願いいたします。なお「日本保健医療行動科学学会入会のご案内」は、本学会 Web サイト (<https://www.jahbs.info/>) からダウンロードができます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

挿絵ギャラリー（第100号からの続き）

これまでニュースレター（第81～99号）に掲載された挿絵等（中川 晶 作）を順次、一堂に掲載いたします。今号では第87～91号に掲載された挿絵14点を掲載しました（コメントは当時のものです!）。（Web版はカラーです）

◇◇◇ 第81号～第86号に掲載された挿絵は第100号に一堂に掲載済みで本学会 Web サイトでも公開しています! ◇◇◇



ロンドンの
ネコ好き：
ネコ好きは
世界中に
いますが、
カフェにま
で連れて
きてるのは
よほどの
ネコ好きか
な。(中川)



街を行く少女：ロンドンの街中を颯爽と歩く小さな女の子の後ろ姿がカッコ良かったです。(中川)



「二匹と一人」というタイトルの絵です。後ろはロンドン名物の二階建て赤バス。(中川)



湖水地方をこんな小さな車で走りました。(中川)



夏の終わりというタイトル、ロンドンです。(中川)



ぶどう園: 今年の作品でまだ展覧会にも出していない。(中川)

No.88 (2015年12月号) より



No.89 (2016年3月号) より



「救助鯉」: 救助犬があるなら救助鯉があってもいいのではと浮かんだ案です。こんな大きな鯉がいたら楽しかろうと思いませんか？(中川)

No.90 (2016年8月号) より



ロンドンの骨董屋街、怪しさ満点です。(中川)



ケンブリッジ大学ダウニングカレッジの秘密の中庭。(中川)



No.91 (2016年12月号) より

第 35 回学術大会を終えて

第 35 回学術大会 大会長 安酸史子

昨年は COVID-19 禍のため、学術大会が中止になりましたので、一年越しの第 35 回学術大会でしたが、完全オンラインで無事に終えることができましたことを心から皆様に感謝いたします。第 34 回学術大会会長の梓川先生から渡されたバトンを長く持ち、「当事者性」という概念について、じっくりと考える機会となりました。大会のメインテーマは、「医療者が当事者性を持つことの意義を問う」としました。おりしも COVID-19 の中で、患者さんだけでなく医療従事者を含む全国民が三密を避け、手洗い、マスクの徹底を他人事ではなく、自分事として、つまり当事者として求められるこれまでにない経験を強制的にしてきました。

参加者数は少なかったものの、当事者性に対する参加者の関心は高く、学術大会の後でも、研究会等で幾度となくディスカッションをする機会がありました。私は、これまで看護師として主に糖尿病患者さんに対するセルフマネジメント支援について提唱してきました。当事者性を大切にしてきたつもりでしたが、学術大会を通して、改めて当事者性という言葉を重ねる中心に置く契機となりました。基調講演の時には自分なりに分かったつもりになった「当事者性」「他者性」という概念に関しては、英語表記で伝えようとして、一言で伝えられないことが分かり、まだしばらくはこだわり続けたいと考えています。

とはいえ、バトンを第 36 回学術大会会長の樋口先生に渡すことができ、ほっとしております。



English

第35回日本保健医療行動科学会学術大会

[TOP](#) > 大会Web会場

開催情報

大会Web会場

大会参加者の皆さまへ

大会参加登録 (申込)

大会長の挨拶

大会プログラム・日程

一般演題発表、交流集会プログラム

ワークショップのご案内

大会案内・チラシなど

一般演題発表の募集

交流集会企画の募集

大会実行委員会メンバー

お知らせ (3)

プログラム

タイムテーブル

セッション一覧

講演検索

講演取消 (1)

大会Web会場

[トップページ](#)

医療者が当事者性を持つことの意義を問う

<< 大会Web会場 >>

◆ ご参加いただく際は「[大会参加者の皆さまへ](#)」を必ずご確認ください。

◆ 次のいずれの●[リンク先](#)●からも大会Webプログラムにログインできます。

- その際パスワードの入力を求められますので、参加登録者にお知らせした大会Webプログラム参加のための「パスワード」を入力してください。

● [タイムテーブル](#) ●

● [セッション一覧](#) ●

● [講演検索](#) ●

● [日程別プログラム一覧](#) ●

第 35 回学術大会 (2021 年 6 月 26 日・27 日開催) 大会専用 Web サイトの「Web 会場」入口画面
(<https://confit.atlas.jp/guide/event/jahbs2021/top> より抜粋)

第 35 回学術大会「参加者からの声」

(大会後の匿名による参加者アンケート結果より抜粋)

■大会参加登録者数 92 名 (会員 63 名、非会員 12 名、学部学生 3 名、大学院生 5 名)
アンケート回答者 21 名 (回答率 22.8%)

○基調講演「当事者性を大切にしたセルフマネジメント支援」について

- * 貴重なお話でした。当事者という言葉にいつも違和感を抱いてしまいましたが、本日の話を聴いてその意味からさらに考えさせられました。奥が深く人のぬくもりがないと援助も効果的にならないと思いました。
- * 大会長は「巻き込まれる勇氣、巻き込まれながらも戻ってくる力、巻き込まれることを推奨しすぎることの弊害について、当事者性を問う」と仰っておられました。当事者になってみないと気づかないことは多く、私自身わかっているつもりでもできていないことがあったのではないかと反省しております。学生さんの言葉も印象に残っています。当事者性について、医療従事者のみならず、一人の人間として、改めて問い直し深く考える良い機会となりました。ありがとうございました。

○特別講演「当事者からみたセルフマネジメント支援」について

- * 武田先生の話は、自身のことということもあって一言一言が考えさせられるものでした。有難かったという言葉が、特に胸にくるものがありました。これから、何を目標せば良いか、方向性を示していただいた感じです。
- * 武田氏の話聞き、医療者は対象者を「患者」として見てしまい、「健康」に価値を置きがちだが、「病気をもってしまった」その人たちは病気を持つまで「健康」を主たる目的として生きてきたことがないという言葉に、はっとさせられた。自分の医療者としての姿勢を改めて考えさせられた。

○シンポジウムⅠ「当事者を支える重要他者としての専門家・家族の役割」について

- * たくさんいろいろなお話をお伺いしましたが、シンポジウムⅠの杉山さんのお話が大変印象に残り、お話をすべて聞き終えたころには涙があふれ一番心に響きました。そして何よりも杉山さんのご子息はとても強いなあと感じました。大変な状況で毎日が手探り状態にもかかわらず、常に真摯に向きあい、そのようなひたむきな愛のある懸命な親の姿勢が、息子さんにも伝わるのだなあと感じました。
- * 当事者を取り巻く様々な立場の方々の体験を聞かせていただき、当事者を支える重要他者の方々も、その方の体験の当事者というふうにと考えると、ケアの対象はすべての人々であるのだとあらためて実感しました。

○シンポジウムⅡ「セルフマネジメント支援における当事者性とは何か—専門家の立場から—」について

- * 梓川先生のお話は、職種は違いますが、目からうろこで、共感することが多くうれしくなりました。
- * 臨床心理樋口先生の講演で「無知の知」「技法の鎧を脱ぐ」というお話が印象に残った。心理学分野は看護学分野と重なる部分が多いため、興味深く聞かせていただいた。看護研究(質的研究)をしていた時、知識をつけると、それが当たり前になってしまい、敢えてそれをリセットして対象者と対話することの難しさを実感したことを思い出した。
- * 当事者性、という言葉の意味、定義について、これからじっくり考えていきたいと思う内容でした。

○ワークショップ全般について

- * WEB 開催の中でグループワークのセッションを設けて頂きありがとうございます。①～④について日々の業務の忙しさに追われ無意識に行われていることが多々あります。ワークを通じて1つ1つを意識し、それぞれの技法を活用した結果どうであったかの評価を行うことの大切さを再認識することができました。
- * いずれのワークショップも、もう少し時間が欲しかったというのが正直な感想です。しかし、オンライン上でもグループになって実際にコミュニケーションが取れたのはとてもよかったと思います。

企画運営委員会 学会企画共同研究について（経過報告）

日本保健医療行動科学学会・企画運営委員会「語る、聴く、書く」企画担当
中川晶、吉岡隆之、諏訪茂樹、岡美智代（文責 岡美智代）

日本保健医療行動科学学会・企画運営委員会の「語る、聴く、書く」企画の担当としては、各職種がどのように患者に対してアプローチしているのかを、かねてから明らかにしたいと考えてきました。そこで、委員会企画として、本学会の学会員の皆様と共同研究を行うことを計画いたしました。

委員内での検討後、2020年12月14日に事務局から学会員全員の方に一斉メールを送信し、共同研究者を募集させていただきました。募集期間は10日間でしたが、13名の方がご応募くださいました。予想以上の多さで、大変うれしく思っております。当初は全員の方にご参加いただいておりますが、現在は委員も入れて12名で定期的に1回/月の研究会議を開催しています。（もちろんzoomでの会議です。便利です。）

この取り組みは、本学会の特徴でもある学際性という利点を生かす活動でもあり、学会員の皆様に、本学会により関心を持っていただくことにつながると考えております。さらに、研究成果物を国内外に発信することで、本学会の存在価値を高めることにもつながると考えております。本委員会で行っている研究により、職種間の相互理解、ならびに効果的なinter-professional workを行うための示唆が得られるよう進めてまいります。

研究テーマや目的から検討しているため、すぐにはご紹介できる研究内容はありませんが、来年の第36回日本保健医療行動科学学会学術大会では、何らかの成果をご紹介できればと思っております。

日本保健医療行動科学学会雑誌「投稿論文」随時受付中

学会雑誌に掲載する投稿論文は随時受け付けています。雑誌の発行は年2回（6月及び12月の予定）です。投稿原稿の種類は、原著論文、総説、研究ノート、資料、実践・活動報告です。

投稿論文は「オンライン投稿・査読システム（Editorial Manager®）」にて受け付けとなります。投稿手順等の詳細は本学会 Web サイト（<https://www.jahbs.info/>）の『雑誌』投稿についてのページに掲載しています。

☆ 日本保健医療行動科学学会「中川記念奨励賞」候補者ならびに「奨励研究員」の募集 ☆

【日本保健医療行動科学学会中川記念奨励賞】

中川記念奨励賞の候補者を募集いたします。受賞年度において45歳未満の正会員で、保健医療行動科学に関する学術的研究あるいは教育を含む諸活動において、顕著な業績を上げている方が受賞の対象になります。自薦・他薦いずれでも結構ですので、奮って応募してください。応募者は、本学会 Web サイトに掲載されている最新の「中川記念奨励賞内規」及び「中川記念奨励賞候補者の業績についての選考内規（2013.6.22.最終改定版）」を参照の上、履歴書及び研究業績リストを学会事務局に送付してください。2022年度受賞の応募期限は2022年3月末日です。

【日本保健医療行動科学学会奨励研究員】

本学会では奨励研究員の制度を設けています。これは正会員で、関連分野での研究活動を行いながらも常勤の所属に恵まれない方々のために、少しでも社会的不利益を補完・救済することを目的とした制度です。この身分を希望される方は、希望の理由と履歴書及び研究業績リストを学会事務局に送付してください。奨励研究員の呼称を認められた方は「日本保健医療行動科学学会奨励研究員」の身分を用いて論文の執筆や学会発表ができます。対象者の年齢制限はなく、任期は1年間とし、状況に応じて更新が可能です。審査・登録にかかる費用は無料です。応募期限は特にありません。

☆ eメールアドレスの登録のお願い ☆

【重要なお願い】 会員管理システムの導入に伴いeメールアドレスの登録が必須となります。未だeメールアドレスが未登録の方は、速やかに学会事務局にお知らせください。（すでにeメールアドレスを登録いただいている場合の変更は、会員管理システムからご自身で可能です。）なお、eメールアドレスを利用されていない会員の方は、ご案内の方法や会費納入等について相談させていただきますので、事務局（050-7115-5154）までご連絡をお願いいたします。

公示日：2021年12月9日

日本保健医療行動科学会「第13期理事・監事選挙」の公示

日本保健医療行動科学会 選挙管理委員会

本学会ニューズレター第102号（2021年8月発行）及びeメールでもご案内しましたが、現在の第12期役員の任期が来年（2022年）5月末日で満了となりますので、「会則第13条3項および5項」と別に定める「理事・監事選出規約（2021年6月26日改定版）」に基づき、下記のとおり「第13期理事・監事選挙」を行います。今回の選挙から電子投票を導入することになりました。

つきましては、別途、選挙有権者各位にeメールにてご案内する「第13期理事・監事選挙要項」に基づき投票を行ってください（eメール未登録の方には郵送にてご案内いたします）。

「会則」および「理事・監事選出規約」は、本学会雑誌の巻末あるいは本学会 Web サイトに掲載していますのでご参照ください。（本学会 Web サイト：<https://www.jahbs.info/>）

記

1. 第13期理事・監事選挙要項及び選挙専用 Web サイトへのログイン情報：選挙期日初日（2021年12月16日）に選挙管理委員会より会員管理システム（会員マイページ）に登録されている選挙有権者のeメールアドレス宛に個別にご案内いたします（eメール未登録の方には郵送にてご案内いたします）。
2. 選挙期日：2021年12月16日から2022年1月12日（23時59分）まで。
3. 選挙手続：上記1の第13期理事・監事選挙要項に基づき、選挙専用 Web サイトへログインして電子投票を行ってください。

※今回の選挙有権者（選挙者および被選挙者）は2021年9月30日正午時点の通常会員と学生会員です。
※連絡先不明者（2021年11月23日までに連絡先が確認できなかった方）は「選挙有権者（被選挙者）名簿」に掲載されません。



事務局便り



- 2021年度会費（2021年4月1日～2022年3月31日）及びそれ以前の会費が未納の方は、早急に「会員管理システム」よりお支払いの手続きをお願いいたします。会費納入に関してご不明な点やご相談などがございましたら事務局にご連絡ください。
 - 会員管理システム導入に伴い、会費の納入は、オンラインでの銀行振込（りそな銀行宛）またはクレジットカード決済（各種）となります（基本的にこれまでのゆうちょ銀行への振込・振替は利用できません）。オンライン決済では複数年の会費を同時に決済することはできません（複数年の会費の同時決済をご希望の場合は本学会事務局にご相談ください）。詳しくは本学会 Web サイトをご参照ください。
 - 2013年6月（第10期）以降の理事会議事録及びニューズレター（第81号～第99号）を本学会 Web サイトの「会員専用ページ」に掲載しています。「会員専用ページ」を閲覧するためには、ユーザー名（*****）とパスワード（*****）が必要です。ニューズレター第100号以降は本学会 Web サイトで公開しています。
 - 退会をご希望の場合は、本学会 Web サイトから退会届の様式をダウンロードし、必要事項をご記入の上、PDF ファイルをeメールに添付して事務局に送付してください。
- ※事務局員の就業日時：基本的に月曜日と木曜日の10:00～15:30

<<編集後記>>

ニューズレター第103号をお届けします。第36回大会と東京支部研究会のご案内、第35回大会と学会企画共同研究のご報告、第100号からの続きで挿絵ギャラリー（中川会長作）が掲載されています。ぜひご覧ください。本紙面で公示されているとおり本学会としては初めての電子投票による理事・監事選挙が行われます。パソコンやスマートフォンから容易に投票ができます。この10月からは投稿・審査システムによる投稿論文の受付がスタートしています（すでに2本の投稿がありました）。各種デジタル化・システム化に伴う会員サポートは丁寧に行わせていただきますので、お困りのことがございましたら事務局（info@jahbs.info）までご連絡ください。（吉岡）